

八戸特産野菜「八戸いちご」

（八戸特産野菜の定義）

八戸市の風土と関わりが強く、栽培が地域に密着し、一層の生産及び販売振興を図るべき野菜

1 旬

冬～春（12月～6月）



2 本格的な生産の始まり

昭和30年前後、浜市川は、ヤマセの影響により度々冷害に見舞われていたことから、農家の男性は北海道のニシン漁へと出稼ぎに行っていたが、昭和28年、出稼ぎ中の22名が嵐による事故で命を落としてしまい、その子たちの悲しむ姿を見た市立多賀小学校の細川重計校長先生が出稼ぎをしなくてもすむように、当時は珍しかった「いちご生産」を浜市川苺生産組合（現在の八戸苺生産組合）の初代組合長となる木村徳男氏等に呼びかけたこともあり、7人の農業経営者が生産を始め、市川地区に本格的な「いちご生産」が定着したと言われている。

3 生産状況

八戸市市川地区に県内一の産地が形成され、「さちのか」、「とちおとめ」、「麗紅」等の冬～春に生産される品種に加え、近年では、夏～秋に生産される「サマールビー」、「すずあかね」等の品種も生産され、周年供給が可能となっている。市内作付け面積は32ha（平成21年）。

4 生産カレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

(促成栽培) ※品種：さちのか、とちおとめ

○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○		○	○○	○	○○○	○○○
					収 穫		処 理	定 保 植 温	収 穫		

(半促成栽培) ※品種：さちのか、麗紅

	○○	○○○	○○○	○○○	○○○		○				○
	収 穫				収 穫		定 植				保 温

(夏秋栽培) ※品種：サマールビー、すずあかね

		○			○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○	
		定 植			収 穫					収 穫	

5 販売カレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

(促成栽培) ※品種：さちのか、とちおとめ

○○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○				○	○○○	○○○
-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	--	--	---	-----	-----

(半促成栽培) ※品種：さちのか、麗紅

	○○	○○○	○○○	○○○	○○○						
--	----	-----	-----	-----	-----	--	--	--	--	--	--

(夏秋栽培) ※品種：サマールビー、すずあかね

					○○	○○○	○○○	○○○	○○○	○○	
--	--	--	--	--	----	-----	-----	-----	-----	----	--

6 品種の概要

(1) とちおとめ

特徴	粒が大きい。酸味が少なく、甘味が強い。ジューシーだが輸送性に優れる。
収穫時期	10月～6月
育成地	栃木県

(2) さちのか

特徴	甘味が強く、香りが良い。濃厚な味。輸送性に優れる。
収穫時期	10月～6月
育成地	福岡県

(3) 麗紅 (れいこう)

特徴	コクのある甘味と酸味があり、昔懐かしい味。果肉はジューシーで果汁たっぷり。八戸の昔ながらの品種。
収穫時期	3月～6月
育成地	千葉県

(4) サマールビー

特徴	業務用。夏秋どり品種。甘味と酸味のバランスが良く、香りが豊か。輸送性に優れる。
収穫時期	6月～11月
育成地	徳島県

(5) すずあかね

特徴	業務用。夏秋どり品種。夏秋いちごの中では糖度が高く、香りが豊か。輸送性に優れる。
収穫時期	6月～11月
育成地	北海道

7 戦略

いちごについては、生産者数、生産面積ともに漸減傾向にあるものの、市の特産野菜として根付いており、周年供給体制の確立を図りながら、栄養素等に関する強みを明らかにするとともに他産地と比較した際の優位性を検討し、ストーリー性を付加した八戸いちごの持つ本来の実力の発信による需要の多様化、並びに増加を目指します。

（生産）

（1）いちごの周年供給のための栽培調査

冬～春に生産される促成・半促成栽培いちごの生産者ニーズに応じた栽培調査を継続するとともに、夏～秋に生産される夏秋栽培いちごの品種特性及び管理手法に関する栽培調査を引き続き実施し、いちごの周年供給体制の確立を支援します。

（2）施設の整備に対する補助事業等による支援

生産者のビニールハウス等の整備に要する初期投資を軽減するため、施設整備に関する補助事業等により支援します。

（販売）

（1）八戸いちごのポテンシャルの整理と検討

栄養素等に関する強みを明らかにし、そのポテンシャルを整理するとともに、他産地のものと比較した際の優位性を検討します。

（2）八戸いちごの実力の発信

八戸いちごの強みを生かした情報発信を行い、八戸の特産品としての位置づけを強化することにより、市民の皆様へ八戸いちごの持つ本来の実力を伝達し、業務用等の需要の多様化、並びに市民の皆様の認知の向上による需要の増加を図ります。

（3）八戸いちごに関する情報のストーリー化

八戸いちごの本格的な生産に至るまでの経緯や生産に関する情報をストーリー化し、発信することにより、市民の皆様の愛着意識の醸成を図ります。